

あわら 市議会だより



第80号

令和6年5月15日 発行

**6月1日(土)7会場で
議員と語3つ会を開催!**
詳しくは12ページへ

Pick Up

2~3p / 14~15p
令和6年度当初予算



議会の様子が YouTube で視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

定例会報告	2-3p
委員会報告	4-5p
一般質問	6-11p
議員と語ろう会・討論・次期会期日程	12p
議決結果	13p
特集「深掘TOPICS」	14-15p
特集ギカツ「議会を傍聴してみよう!」	16p

令和6年3月定例会を 開催しました

2.26 » 3.21

2月26日から25日間にわたって、3月定例会を開催しました。定例会では、令和6年度一般会計予算案など議案40件のほか、陳情1件を審議しました。

3月5日、6日には12人の議員が一般質問を行いました。3月21日の本会議最終日では、常任委員会での審査結果が報告され、採決の結果、賛成全員または賛成多数ですべての議案が可決されました。なお、陳情1件は、採決の結果、不採択となりました。

3月定例会の流れ

2月26日
本会議

・議案上程
・会期決定

2月26日
予算決算
常任委員会

・予算質疑

3月5日/6日
本会議

・一般質問

3月7日/8日
総務厚生
常任委員会

・議案審査

▶ P6~11 一般質問

▶ P5 委員会報告

3月11~13日
産業建設教育
常任委員会

・議案審査

▶ P5 委員会報告

3月19日
予算決算
常任委員会

▶ P4 委員会報告

3月21日
本会議

・質疑・討論
・採決

▶ P12 討論
▶ P13 議決結果

主な議案をチェック

令和5年度補正予算

一般会計、特別会計、企業会計で総額29億342万3千円を増額し、予算総額は258億681万6千円となりました。

主に、能登半島地震に伴う支援経費や金津中学校グラウンド整備工事などの予算を計上し、提出された補正予算案はいずれも原案のとおり可決されました。

令和6年度当初予算

一般会計をはじめ、特別会計、企業会計などの総額は225億1,684万5千円で、いずれも原案のとおり可決されました。

令和6年度当初予算は、あわら温泉を核とした交流人口を増加させるための施策をはじめ、子育て世代の負担軽減や市内への流入人口の増加を目的とした多岐にわたる予算となっています。

議員提出議案

● あわら市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

● あわら市議会会議規則の一部を改正する規則の制定

地方自治法の改正によって、議会の手続きをオンラインでできるようになりました。これに伴い、あわら市議会でも議案の提出などの手続きをオンライン化するため、条例と規則を改正しました。

令和5年度補正予算

総額29億342万3千円を増額

金津中学校グラウンド整備工事

9,400万円

暗渠や表面排水工事によってグラウンドの排水不良を改善し、利便性を高めます。



▲金津中学校グラウンドの降水後の状況

新

北陸新幹線芦原温泉駅開業記念プレミアム付き商品券の発行

3,710万円

北陸新幹線芦原温泉駅開業の機運醸成と家計支援のために、プレミアム付き商品券を発行します。



▲プレミアム付き商品券のイメージ

新

宿泊客拡大支援事業補助金

3,000万円

北陸新幹線芦原温泉駅開業後の観光誘客を強固に図るための観光支援を行います。



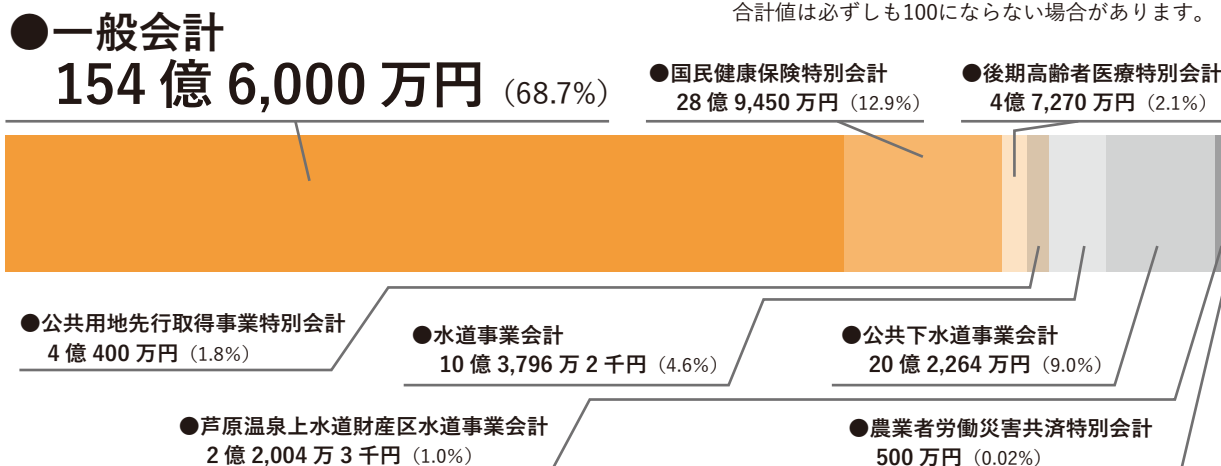
▲あわら温泉開湯140周年のフラッグ

新

令和6年度当初予算成立 総額225億1,684万5千円

当初予算の規模をチェック

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100にならない場合があります。



令和6年度当初予算 主な事業

●ほかに14～15Pで予算を詳しく 深掘り!

中央公民館の改修工事

新

8,360万円

中央公民館を新たに指定避難所とするため、必要な設備の追加と更新を行うことを目的に、改修工事を実施します。



▲改修予定の中央公民館

給食費負担金の半額支援

継続

4,682万3千円

子育て世帯の負担軽減を図るため、令和5年度に引き続き、小中学校の給食費負担金の半額を市が支援します。



▲給食を楽しむ児童たち

移住・定住の促進

継続

1,985万円

主に若者世帯、子育て世帯の移住定住を促進するための補助や支援を行います。



▲補助を受けた若者世帯

中小企業支援緊急資金補給金

新

1,769万7千円

能登半島地震によって被災した中小企業者等の経営再建に必要な資金借り入れに対して、保証料補給と利子補給を実施します。



▲商工会の被災者応援の取り組み

地域おこし協力隊員活動経費

新

398万6千円

旧校舎を拠点に、地域おこし協力隊が地域活性化に取り組みます。



▲旧校舎を拠点とした地域活性化の様子

ゼロカーボンシティの推進

新

392万円

2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするために、脱炭素の取り組みを推進します。



▲再生可能エネルギーの普及啓発

予算決算常任委員会

令和5年度 一般会計補正予算

■商工労働課

なりわい再建 上乗せ支援金

この支援金は令和6年能登半島地震による災害からの復旧・復興の促進を目的として国の「なりわい再建支援補助金」に上乗せ補助を行うものです。問すでに実施している復旧費用は補助対象となるのか。

■教育総務課

国際交流派遣事業

問 中国への派遣事業に応募した生徒が少なかった理由は。また、応募者の増加に向けた対策は。答 中国への渡航費用の高騰が主な理由です。オンラインや手紙を使って

交流の機会を増やしなから、生徒の国際交流の理解を高めて応募者数を増やしていきます。

令和6年度 一般会計予算

■政策広報課

道の駅蓮如の里あわら

問 道の駅を拠点に吉崎エリアや芦原温泉街を周遊する観光プランなどは考えているか。

答 吉崎地区のデジタルマップを作成しており、地元とも連携しながら周遊性を高める仕掛けを作っていきます。

■生活環境課

ゼロカーボンシティ の推進

問 庁舎のLED化や電気自動車への移行などを進めていくべきでは。

答 太陽光発電の補助や庁舎のLED化などを計画的に進めるため調整中

です。外部専門家制度も活用し、政策を検討する際のアドバイザーとして期待しているところです。

■子育て支援課

ひとり親家庭習い事 支援事業

問 福井県は制度を拡充しふたり親でも低所得であれば支援の対象としているが、あわら市はどうか。

答 他市の状況を踏まえ現状のままとします。

■商工労働課

企業立地の促進

問 企業立地に繋げるための事業用地に関する情報整備の進捗は。

答 事業用地のリストアップは重要だと考えており、令和5年度から商業地域などの土地所有者に対して聞き取り調査を始めました。まずは、土地所有者に自分の土地が活用できることを知ってもらうためにも、情報整備の取

り組みを進めていきます。

■農林水産課

農業の補助事業全般

意見 あわら市の特徴を捉えた上で、国や県に対してより多くの要望を届けることにより、あわら市に有効な補助金を引き出してほしい。

■建設課

黒谷川の治水対策

意見 治水対策で水田を田んぼダムとして利用するのであれば地元の協力が不可欠であるため、土地改良区だけでなく地元と調整して事業を進める必要がある。

答 流域治水による水災害対策を進めるためにも、流域内の地区で協議会を設立するなど総合的に事業を進めます。

■文化学習課

中央公民館の改修工事

問 改修工事に合わせて

照明をLED化するのか。また、新しく設置する調理室の使用料の料金設定は行ったのか。

答 LED化の検討を進めていきます。調理室のある他の公民館を参考に検討を行い、工事完成までに料金設定を行います。

■教育総務課

給食の原材料費

問 物価高騰によって給食の品数が減るなど献立に影響はないのか。

答 物価は高騰していますが、限られた予算の中で品数を変えずに献立に工夫を凝らしながら、栄養価の高い給食の提供に努めています。意見 地域活性化に繋がるため、地産地消に努めてほしい。

■スポーツ課

中学校合同部活動 支援補助金

問 市内両中学校間の移

動を支援するための予算か。

答 平日の中学校間を移動するデマンドタクシーの料金を補助するための予算です。

意見 部活動での移動の問題は生徒にとっても重要であるため、予算の使い方を柔軟にし、色々な方々を検討してほしい。

令和6年度 芦原温泉上水道財産区水道事業会計 予算

配水管布設替費

問 毎年全体の何%の老朽管を布設替えしているのか。耐震管を使って布設替えしているのか。

答 毎年全体の1%を耐震管に布設替えしています。また、がけ崩れなどの災害が想定される場所には耐震管を布設しています。

総務厚生常任委員会・産業建設教育常任委員会

あわらし市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及びあわらし市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

地方自治法の一部改正に伴い、同法の施行に關し必要な事項を定める条例を制定するものです。

あわらし市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律及び福井県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要綱の一部改正に伴い、名称や助成対象者等について所要の改正を行うため、条例を制定するものです。

あわらし市地域振興基金条例の一部を改正する条例の制定

基金の設置目的について所要の改正を行うため、条例を制定するものです。

あわらし市空家等の適切な管理に関する条例の制定について

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正等を踏まえ、空家等の適切な管理に関する必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

問 空家所有者を支援する空家等管理活用支援法人を指定することができるとなったが、あわらし市に該当する法人はあるのか。
答 現在、市内にはありません。

公の施設の指定管理者の指定について（金津雲雀ヶ丘寮）

あわらし市金津雲雀ヶ丘寮の指定管理者として、社会福祉法人あわらし市社会福祉協議会を指定するものです。

問 コンサルタントの分析を踏まえた経営改善内容となっているのか。

答 コンサルタントの意見も入れた改善内容であると聞いています。雲雀ヶ丘寮の職員一丸となり経営改善、経営の安定化、意識改革に取り組むよう市も指導監督していきま

公の施設の指定管理者の指定について（老人福祉センター市姫荘）

あること自体がメリットであると考える。指定管理者として社会福祉協議会が経営を継続し、それが見てもわかる方法で経営改善に取り組んでほしい。

あわらし市老人福祉センター市姫荘の指定管理者として、社会福祉法人あわらし市社会福祉協議会を指定するものです。

あわらし市浜坂漁港管理条例の一部を改正する条例の制定

意見 金津雲雀ヶ丘寮は、特別養護老人ホームや養護老人ホームのほかデイサービス事業や居宅介護支援など総合的な社会福祉事業を行っており、このような施設が本市に

あわらし市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定

統計法の規定により統計基準として定められている日本標準産業分類が改定されたことに伴い、引用条文について所要の改正を行うものです。

セントピアあわらし条例の一部を改正する条例の制定

あわらし市老人福祉センターセントピアあわらしの利用時間及び休館日の改定に伴う所要の改正を行うものです。

あわらし市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定

漁港漁場整備法の一部改正により、法律名が改められたこと等に伴い、引用条文について所要の改正を行うものです。

ともに、道路占用料等を改定するものです。

あわらし市公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定

地方自治法の一部改正に伴い、引用する条項を改めるものです。

あわらし市水道事業給水条例及び芦原温泉上水道財産区水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定

水道法が一部改正され、水道整備・管理行政に係る権限等が厚生労働省から国土交通省に移管されることに伴い、所要の改正を行うものです。

ふるさと納税の現状と

今後の取り組みについて

・市長任期3年目を迎えた市政の進捗状況と今後の展望について

ふるさと納税の現状と今後の取り組みについて

木下 令和6年度の寄附額の目標は。また、寄附金の使途をどのように公表し、どのように透明性を確保しているのか。

創造戦略部長 寄附額の目標を8億6千万円に定め、新しい取り組みによって寄附額の増加に努めます。また、使途は、広報紙やホームページなどで公表するほか、寄附者にはメールマガジンでお知らせをしています。今後は、使途の透明性を確保するためにも「見える化」を行い、積極的な情報発信に取り組んでいきます。

市長 税収の大幅な増加が見込めない中、ふるさと納税は貴重な財源だと考えています。今後、寄附額の増加に繋がるよう、様々な取り組みにチャレンジしていきます。

市長任期3年目を迎えた市政の進捗状況と今後の展望について

木下 市長として任期3年目を迎えたが、風通しのよい市政運営の方針に基づいて、市民の声が十分に反映され、開かれた市政になっているのか。また、市の未来の土台である人口減少対策は進んでいるのか。

市長 まちづくりの主役は市民一人一人であるとの考えのもと、市民の皆

木下 勇二 議員



様からのご意見、ご要望等を市政に反映するため、市長ふれあいトークや、区長の皆様との意見交換を積極的に実施しています。

人口減少対策は本市にとって最大の課題であると考え、今後も若い世代があわら市に住み続けるための支援を行っていくために人口減少対策チームを編成し、着実に取り組んでいきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

能登半島地震発災後の当市の対応の検証と、今後の防災・減災への対策について

能登半島地震発災後の当市の対応の検証と、今後の防災・減災への対策について

室谷 能登半島地震によって震度5強の地震に

みまわれたあわら市の災害対応を振り返って、どのような課題が浮き彫りになったか。

総務部長 発災した1月1日から3日にかけて延べ388人の職員が災害対応に当たりましたが、マンパワーの確保が最大の課題でした。国や県からの人的支援をはじめ、災害時相互応援協定による関係機関からの支援、区長、民生委員などとの協働関係の中で、どのようにマンパワーを確保していくかが大きな

課題だと考えています。
室谷 防災や減災に向けた今後の対策は。
総務部長 防災や減災対策は日頃の取り組みが大切で、広範囲に及ぶため、行政による取り組みと家庭内での取り組みを積み重ねていくことにより、地域の防災力の強化につなげていきたいと考えています。

室谷 地域防災力の向上のために、自主防災組織のネットワークの編成を提案する。

総務部長 自主防災組織のネットワーク化などによって各集落の取り組みを共有し、蓄積できる仕組みを考えていきたいと思っています。

室谷 災害関連死を防ぐため、指定避難所である体育館に空調設備を

室谷陽一郎 議員



整備する考えはあるか。
総務部長 空調設置とあわせて建物の断熱や気密性を確保するため、改修工事が必要となるため、限られた財源から優先順位を決めて検討していきます。

室谷 防災安全対策室から防災安全対策課への組織強化と増員、そして防災分野のエキスパート人材の養成を提案する。

市長 エキスパートの養成には同意見です。防災安全対策課への組織強化と増員については今後検討していきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・市長公約について

（大型商業施設・給食無償化）

・あわら市民体育祭の開催について

市長公約について

八木 市長公約で掲げている大型商業施設の誘致の進捗は。

市長 大型商業施設の誘致については、小売業の企業やデパートスーパーへのアプローチに加え、金融機関に対しても企業の紹介を依頼するなど、様々な角度から活動をしています。良い返事がなく、誘致に至っていません。今後とも、粘り強く誘致活動に取り組んでいきます。

八木 学校給食の完全無償化を決定すべきではないか。

市長 財政状況を勘案しつつ、半額助成を継続しながら、完全無償化に向け、時期や財源を検討していきます。また、国や県に対して、学校給食の

無償化を行う市町への財政措置を講じるよう、働きかけを行っていきます。

八木 独自財源を使っても実施すべきだ。あわら市の担い手である子どもたちのためにも期待している。

あわら市民体育祭の開催について

八木 令和6年度以降も市民体育祭を継続して実施する考えはあるか。

教育長 スポーツ推進審議会からの答申である「現在の市民体育祭に代わる新たな趣向のスポーツを中心とした行事を開催すること」に基づき、関係機関と協議し、最終的な方向性を示したいと考えています。

八木 6年間も中止し

八木 秀雄 議員



てきた市民体育祭をこれ以上中止することは市民にとって大きな損失だ。市民が一堂に集まり、スポーツを楽しみ、団結するイベントが必要ではないか。

市長 市民体育祭に代わる新しい行事を開催する場合には、検討期間として相応の時間をいただく必要がありますので、ご理解をいただきますと思います。

八木 スポーツ協会は準備万端だ。完璧でなくともまずやってみることが大事だ。市民が団結するチャンスである。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・あわら市地域防災計画等の見直しについて

見直しについて

あわら市地域防災計画等の見直しについて

島田 災害対策へ万全を期し、市民の生命・財産等を保護するため「あわら市地域防災計画」が策定されているが、策定から丸9年が経っている。今回の地震で自ら被災地となり、かつ能登半島の自治体と同様に過疎や辺地地域を有し、少子高齢化・人口減少といった困難な課題を抱えるあわら市では、今回の地震を踏まえた地域防災計画の見直しの必要性をどのように考えているか。

市長 能登半島地震の課題も十分検討し、「自助」、「共助」の役割や指定避難所の在り方など、

災害から市民を守るため、国や県、専門機関などの助言も取り入れながら、地域防災計画の改定を進めていきます。

島田 自治体による「公助」に依存する防災は限界を超えている。上下水道や公共施設の多くは耐用年数を超えており、耐震化も進んでいない。指定一般避難所や指定福祉避難所の収容率も不十分であり、企業や旅館などの民間施設の活用が不可欠だ。また、避難所まで自力で避難できない市民もいるため、柔軟な対応が必要となってくる。災害関連死の防止と避難所の質の向上のためにも、体育館のエアコン設置を早急に進めるべきである。そして、高齢者や障がい者など自分では避難できない要支援者には、一人一人の「個別避難計画」策定が法律により義務化されたことを踏まえ、誰一人取り残さない防災を進めるべきである。携帯電話を持たない世帯には、固定電話を活用した音声一斉配信サービスも実施すべきだ。

島田 俊哉 議員



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック



・持続可能な財政運営の 今後の取り組みについて

持続可能な財政 運営の今後の取り 組みについて

吉田 今後も厳しい財政状況が続く中、様々な計画の実現に向け、また継続的かつ安定的な行政サービスの提供、更には防災や市民の安全安心のための喫緊の対策の充実などのために、経常的経費を抑制し、新たな財源を確保することにより、中長期的な歳入や歳出の見直しを進め、持続可能な財政運営を進めることが必要かつ重要であると考えますが、今後の取り組みに対する市長の考えは。

あり、将来予測を踏まえながら、収支の均衡を図る必要があります。具体的には、歳出については、事業の縮小や合理化、また新規事業に取り組む際には、国や県等からの財源確保に努めていきま

す。また、歳入については、引き続きふるさと納税の増収確保や新たな資金調達手段の調査研究などに努めていきます。しかしながら、財政というものは、不確定な要素が多く、見通せない一面があります。近年では、新型コロナウイルス感染症や緊迫する世界情勢などによる原油や物価の高騰、豪雨災害や年明けの能登半島地震の発生など、予測困難な事態も頻発しており、そのよ

吉田 太一 議員



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・木造住宅の耐震化について ファシリテーターについて

木造住宅の耐震化 について

堀田 あわら市において、旧耐震基準が適用されている木造住宅の耐震化率は。

土木部長 旧耐震基準が適用されている昭和56年以前の住宅は2,890戸あり、そのうち耐震化された住宅は1,070戸、耐震化率は約37%です。

堀田 耐震診断と補強プランの作成に必要な自己負担分の費用を無償化すべきでは。

土木部長 前向きに検討します。(令和6年4月から自己負担分が無償化されました。)

堀田 経済的負担を減らすことで耐震化率を

上げるといった県の発表を受けて、どのように考えているのか。

土木部長 耐震診断や強化プランは作成したものの、耐震改修工事を実施していない方に直接チラシを送付して工事を呼びかけています。

堀田 防災士を増やす考えは。また、防災士の育成が必要ではないか。

総務部長 地域の防災リーダーとして防災士を増やしていきたいと考えています。県が開催している防災士養成研修会などの助成制度も様々な方法で周知していきたいと考えています。

ファシリテーター について

堀田 ワークショップで

堀田 あけみ 議員



はファシリテーターの役割が重要になるが、職員や市民に対するファシリテーションの研修は行っているのか。

総務部長 職員向けの研修が8回実施されており、計30名が受講しています。計画的に職員のファシリテーターの養成と能力の向上に努めていきます。

創造戦略部長 市民向けの研修は行っておりませんが、あわら市民大学講座などで、学び機会を設けることなどを検討していきます。



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・能登半島地震について ・あわら市沖洋上風力発電 について

能登半島地震について

笹原 地震による家屋の倒壊や損壊に対する救済や、再建に対する支援はどのようなものがあるか。

市長 半壊以上の被害が罹災証明などで認められ、家屋の解体撤去が必要な場合には、解体撤去に必要な費用の全額を公費で負担する制度があります。また、準半壊以上の被害を受けた被災者の再建を図るため、県知事に緊急要請を行ったことで、県と市の共働による被災住宅に対する補助制度が実現しました。

笹原 地震被害に対する補助制度を被災者にどのように周知するのか。

土木部長 建物に関する補助制度は3種類あり、市ホームページで公開しています。また、罹災証明に基づき補助制度の該当者に直接電話をするほか、チラシでの周知も行っています。

笹原 北陸応援割の実施期間を延長してほしいとの要請があったが、どのような対応をしたのか。

市長 総務省に期間延長や助成額の追加支援の要望書を提出しました。また、県知事も観光庁に同様の要望を行っています。国の支援終了後に市独自の事業として宿泊客拡大支援補助金3千万円を3月補正予算で提案しています。

あわら市沖洋上風力発電について

笹原 幸信 議員



笹原 令和3年にあわら市沖が一定の準備段階に進んでいる区域に指定されて以来、有望区域に選定されないのはなぜか。

市民生活部長 利害関係者全ての法定協議会への参加の同意が得られていないためと国から聞いています。

笹原 市として洋上風力発電建設に向けた今後の取り組みは。

市長 今後も県と協力し、関係者の理解を深め、脱炭素化の実現に向けて全力で取り組んでいきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・あわら市の教育について

あわら市の教育について

青柳 新型コロナウイルス感染症の流行以降、IGAスクール構想の推進、学校の臨時休校、部活動の段階的地域移行、給食費半額支援など、教育環境は大きく変化したが、教育委員会として、今後取り組むべき課題は何と考えているか。

教育長 将来の予測困難な時代を見据え、児童・生徒一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を尊重し多様な人々と協働しながら社会の変化に柔軟に対応できる力を育成するための教育を推進していかねければならないと考えています。

青柳 今後さらに変革していく社会の中で、子どもたちがしっかりと歩んでいけるようにするためにどのような取り組みをしているか。

教育長 知識の習得だけでなく「創造力」、「問題解決力」、「コミュニケーション力」など幅広い能力を身に付けることが重要です。そのための一つとして、社会や地域の課題を研究する「探究活動」を進めていますので、ぜひ地域の皆様のご協力をお願いします。

青柳 放課後子どもクラブはどのような体制で運営しているのか。

健康福祉部長 7小学校区で8つの子どもクラブを設置しています。運営

青柳 篤始 議員



時間は、平日は放課後の概ね午後2時から午後6時30分まで、休日は午前7時30分から午後6時30分までです。

青柳 デジタルデバインドの問題の解消に向けた考えは。

教育長 学校や家庭で情報格差が生じないよう、ハードとソフトの両面で環境を整えていきたいと考えています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック



・地震災害対策について ・労働者協同組合法の活用について

地震災害対策について

平野 感震ブレーカーを設置するための補助制度を導入する考えはないか。

総務部長 感震ブレーカーは減災・防災対策につながる有用なツールと認識していますが、夜間に発災した場合には照明が落ちて避難に時間を要するといった懸念などがあるため、補助制度の導入は慎重にならざるを得ないと考えています。

平野 木造住宅の耐震診断に必要な費用のうち、自己負担分を無料化する考えはないか。

市長 他市の状況を注視しながら前向きに検討します。

平野 耐震シエルトー

を設置する費用を補助する考えはないか。

市長 今後の動向を注視しつつ検討します。

平野 40年の法定耐用年数を過ぎた水道管の更新に対する取り組みは。

土木部長 令和15年度に耐震化率を10%まで上げる目標を掲げており、令和6年度から耐震管への布設替えを実施していきます。



労働者協同組合法の活用について

平野 労働者協同組合法をどのように認識し、今後の活用をどのように考えているのか。

平野 時夫 議員



創造戦略部長 この法律の目的は、労働者組合という新しい法人格の枠組みをつくり、地域に貢献しようと事業に取り組む皆様が、もっと自由に柔軟に働ける状況を実現することだと認識しています。福井県主催のセミナーを受講するなど、労働者協同組合法に関する理解を深めたところです。今後は活発な市民団体はもとより、意欲のある労働者に向けて周知に努めます。また、フォーラムやセミナーの開催も前向きに検討します。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・部局横断型プロジェクトについて

部局横断型プロジェクトについて

三上 庁内に部局横断型プロジェクトはどれくらいあり、その現状は。

創造戦略部長 人口減少対策チーム、情報発信戦略チーム、ゼロカーボンシティ推進チームの3つの部局横断型プロジェクトを令和5年度に立ち上げました。令和5年度以前に立ちあげたものには、30代以下の若手職員で構成されたSNS運営チームや、部局を問わず自主的に参加できるDX推進員があります。

三上 部局横断型プロジェクトが庁内外にもたらした影響は。

創造戦略部長 内部への影響としては、各部局の

三上 寛了 議員



若手職員が中心となって組織されることにより、柔軟な発想による提案が期待できることに加えて、若手職員に多様な経験を積んでもらえることだと考えます。また、外部への影響としては、プロジェクトチームの提案をきっかけに、市民課の書かない窓口や、子育て支援課での産婦人科・小児科オンライン相談サービスといった実証実験につながったことであり、これらは今後サービスの提供も予定しています。

三上 今後の縦割りと横断型のあり方、それに伴う職員の働き方をどう考えているのか。

副市長 担当部局内で意思決定をして、市長の了解を得つつ、指示に基

づき業務を遂行する縦割りという形は、組織にとって大事です。一方、部局横断の政策推進を行う際には、従来の縦割りの業務では解決できない大きい課題を解決し、市民のための市政を実現するという意気込みを持って取り組みます。

三上 横断型プロジェクトはともよい取り組みだと思いつつ、ぜひ前向きに進めながら、意欲の搾取にならないよう労働環境にも配慮し、あわら市の文化として根づくものになってほしい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・学校給食の無償化を

・文化財をあわらし市活性化の

資源として活用するために

学校給食の無償化を

山川 学校給食の無償化は市長の公約でもあり、令和5年9月から給食費の半額が公費負担となったが、公約のとおり早急に全額を無償化にすべきでは。

市長 財政状況を勘案しつつ、半額支援を継続しながら、完全無償化に向け、時期や財源を検討していきます。また、国や県に対して、学校給食の無償化を行う市町への財政措置を講じるよう働きかけを行っていきます。

山川 学校給食は教育活動の一環であり、憲法26条に規定されているとおり国が全額支援すべきものであるため、国に財政支援を強く求め

ていただきたい。

文化財をあわらし市活性化の資源として活用するために

山川 あわらし市には、北陸最大と言われる横山古墳群や吉崎といった多くの文化財がある。これらの文化財に市民が触れることができるよう整備に力を入れるべきではないか。

教育部長 文化財の保存や整備は、所有者や所有者から委託された管理者が行うことが原則です。教育委員会では、文化財の所有者や管理者からの相談に応じ、文化財に適した保存や整備方法の助言を行っています。また、市内に76件ある指定文化財については、国、県、市でそれぞれ

山川知一郎 議員



保存や修復に対する補助制度を設けて支援を行っています。

山川 文化財を市民に知ってもらい活用してもらうために説明板を設置するほか、出前講座などを開催して市民の関心を高めてはどうか。

教育部長 市のすべての指定文化財には説明板を設置しており、古いものは順次更新をしています。また、郷土歴史資料館の職員が出前講座を開催しており、今後とも積極的に行っていきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・あわらし市の学校教育

について

あわらし市の学校教育について

北島 文部科学省は小中学校の授業時間を5分短くし、その結果得られる約85時間を各校が自由に使えるようにすることを想定しているが、この取り組みを先行して行うべきでは。

教育部長 先行して取り組んでいる学校の成果や課題を参考にしながら、今後検討していきたいと考えています。

北島 小学校よりも中学校で不登校が増えていくが、これを未然に防ぐためにどのような支援をしているのか。

教育部長 小学校から中学校への進学による環境の変化が不登校に繋が

らないよう、例えば、中学校では小学校6年生を

対象にオープンスクールを開催し、授業の体験や部活動の見学を行っています。また、小中学校の教員同士の情報交流も綿密に行い、入学予定の児童一人一人に関して丁寧な情報共有を行い、円滑な小中連携に努めています。

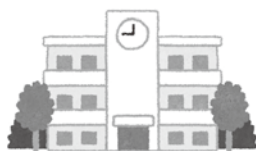
北島 道徳教育の重要性に対する考えは。また、どのようなカリキュラムを組んでいるか。

教育部長 子どもたちの豊かな情操や道徳感を養い、正義感、責任感、生命の尊重、他人への思いやりを育むための道徳教育は大変重要であると考えています。各学校で道徳の公開授業を行

北島登 議員



うほか、ボランティア活動や福祉体験活動など、道徳性を養うための活動を積極的に取り入れています。また、カリキュラムについては、各学校で道徳教育全体計画と道徳教育年間計画を毎年作成し、週1時間の道徳の時間を要として学校の教育全体を通じて道徳教育を行っています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

議員と語ろう会を 開催します

開催日 ▶ 6月1日(土)

開催時間・会場

昼の部：13時30分～15時

本荘小学校

坪江公民館

北潟小学校

細呂木公民館

夜の部：19時～20時30分

伊井小学校

湯のまち公民館

中央公民館

ワークショップ形式で議員と身近に意見交換ができる会です。色々なテーマで語り合います。各部、各会場で同時開催！小学校区単位で行いますので、ご都合のよい会場へお越しください！

議案の討論

議案に対して、賛成か反対かの意見を述べることを「討論」といいます。

ここでは、定例会で討論が交わされた主な議案を紹介します。

●議案第10号

令和6年度あわら市一般会計予算

(採決の結果、可決されました)

給食費の半額が公費負担になったことは評価できる。財政事情が厳しいことは理解できるが、子育て支援に力を入れるためにも、全額無償にすべきだ。



▲詳細はYouTube

反対討論

●陳情第1号

最低賃金の大幅な改善を求める陳情書

(採決の結果、不採択となりました)

賃上げが行われているが、物価高騰に追いついておらず、実質賃金は下がる一方だ。賃金格差を是正するためにも、意見書を国に提出すべきだ。



▲詳細はYouTube

賛成討論

編集後記

北陸新幹線の開業とともに、ぽかぽか陽気に誘われる春から若葉が芽吹く新緑の季節に移ってきました。緑色は、暖色にも寒色にも属さない中間的な色で刺激が少なく、目にするだけで心身のバランスを整える癒しの効果をもっています。この機会に森林浴に出かけられてはどうでしょうか。

さて、議会だよりは、あわら市が誕生した平成16年7月に創刊し、住民と議会をつなぐツールとして定例議会開催毎に年4回発行してきました。今後とも、時代の変化や役割を見つめ直しながら、「魅力ある議会だより」を発行していきたいと思えます。市民の皆さんのご意見をお寄せください。

(北浦)

編集・発行責任者

広報編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

平野 時夫
堀田 あけみ
三上 寛二
木下 了
北浦 憲
室谷 一郎
山川 知郎

議長 毛利純雄

6月定例会のお知らせ

主な会議の予定

- | | |
|----------|----------------------|
| 5月27日(月) | 議会運営委員会
全員協議会 |
| 6月 3日(月) | 本会議 初日
予算決算常任委員会 |
| 14日(金) | 本会議(一般質問) |
| 17日(月) | 本会議(一般質問) |
| 18日(火) | 総務厚生常任委員会 |
| 19日(水) | 産業建設教育常任委員会 |
| 24日(月) | 予算決算常任委員会
議会運営委員会 |
| 25日(火) | 全員協議会
本会議 最終日 |



▲会議日程

傍聴については
本紙最終ページを
ご覧ください

会議の様子を配信しています



▲公式 YouTube

会議の様子を見ませんか？
パソコン、スマートフォン、タブレットから市議会
公式YouTubeにアクセスしてご覧ください。

第120回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

区分	議案番号	○…賛成 ×…反対 退…退席 除…除斥 欠…欠席 ※議長は採決に加わらないので「/」で表示	議決結果	表決		議員名															
				賛成	反対	三上寛了	青柳篤始	島田俊哉	木下勇二	北浦博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	山田重喜	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	卯目ひろみ
市長提案	1	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度あわら市一般会計補正予算(第9号))	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	2	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度あわら市一般会計補正予算(第10号))	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	3	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度あわら市水道事業会計補正予算(第3号))	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	4	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第4号))	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	5	令和5年度あわら市一般会計補正予算(第11号)	可決	13	1	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	×	○	○
	6	令和5年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	7	令和5年度あわら市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第2号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	8	令和5年度あわら市水道事業会計補正予算(第4号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	9	令和5年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	10	令和6年度あわら市一般会計予算	可決	13	1	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	×	○	○
	11	令和6年度あわら市国民健康保険特別会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	12	令和6年度あわら市後期高齢者医療特別会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	13	令和6年度あわら市農業者労働災害共済特別会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	14	令和6年度あわら市公共用地先行取得事業特別会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	15	令和6年度あわら市水道事業会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	16	令和6年度あわら市公共下水道事業会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	17	令和6年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	18	あわら市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及びあわら市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	19	あわら市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	20	あわら市地域振興基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	21	あわら市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	22	あわら市浜坂漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	23	あわら市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	24	セントピアあわら条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	25	あわら市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	26	あわら市空家等の適切な管理に関する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	27	あわら市公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	28	あわら市水道事業給水条例及び芦原温泉上水道財産区水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	29	公の施設の指定管理者の指定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	30	公の施設の指定管理者の指定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	31	あわら市教育委員会委員の任命について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	32	あわら市公平委員会委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	33	あわら市公平委員会委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	34	あわら市公平委員会委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	35	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	36	令和5年度あわら市一般会計補正予算(第12号)	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	37	財産の取得について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	38	あわら市教育委員会委員の任命について	同意	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
陳情	1	最低賃金の大幅な改善を求める陳情書について	不採択	3	11	×	×	×	×	×	×	○	×	/	×	欠	○	×	○	×	×
発議	1	あわら市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○
	2	あわら市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○

深堀 TOPICS

TOPIC 1

子どもの遊び場

を整備します！（しかも全天候型）



天候にかかわらず、子どもたちが安心して遊ぶことのできる全天候型の遊び場を整備することにより、心身ともに健やかな育ちを支援します。



設置場所 あわら市国影13号13番地（子育て支援センターの上の階）

令和6年度 基本計画策定委員会設置及び基本計画策定、基本設計

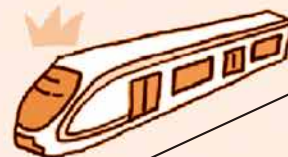
令和7年度 実施設計、整備工事

令和8年度 完成予定

県補助最大

1億円

夜間タクシー



TOPIC 2

が駅に待機して夜間の移動手段を確保します！

市民や観光客等の夜間における移動手段を確保するため、JR芦原温泉駅及びあわら湯のまち駅において、週末の夜間に待機するタクシーを増車します。



待機台数 JR芦原温泉駅2台・あわら湯のまち駅2台

運行時間 金・土・日曜日 18：00～23：00

年間

892万円



NEWS 1

奨学金返還支援事業補助金 募集開始します！

市内に定住する見込みの奨学金返還予定者または返還中の者を対象に、**上限50万円**（上限10万円×最長5年間）を支援します。

令和6年度 募集開始

令和7年度 補助金の支給開始

NEWS 2

観光まちづくりビジョン 策定しました！

観光地として魅力あるまちづくりを実現すべく、**官民連携**で20回以上、委員会やミーティング、ワークショップを実施してきました。さまざまなアイデアを整理し、遂にビジョンとして完成！今後はアクションプランの具体化を進めていきます。

このページは、これからスタートする新しいページ。市民の皆様「今、知ってほしい！」と思うことを、議員自ら編集しました。ぜひ、楽しんでご覧ください。

Boost Awara City
by Ourselves!

北潟湖畔活性化

TOPIC 3

プロジェクトを始動します！

北潟湖畔公園を中心とした賑わいあふれる地域づくりを目指して、北潟湖畔活性化プロジェクトがスタートします。

令和6年度 活性化基本構想を策定
令和9年度 北潟湖畔公園リニューアル（目標の年度です）

これから
基本構想を
策定予定！

竹田川と駅前

TOPIC 4

を繋ぐ周遊エリアを整備します！

JR芦原温泉駅周辺地区において、竹田川、都市公園などの観光資源を活かし、誰もが日常的に使いたくなるような、魅力的な拠点を整備します。



令和6年度 道路舗装 2,000万円
詳細設計 1,300万円

令和7年度 本工事 1億1,000万円

令和8年度 事業活用調査 200万円
看板の設置 400万円

総額
約1.5億円

観光推進

のための体制を構築します！



あわら温泉を核にした観光まちづくりビジョンを推進するための体制を構築します。新幹線開業の追い風を味方につけ、あわら市が持続可能な観光のまちとして発展するよう尽力します。

総額
1200万円

初めてさんもリピーターさんも大歓迎！

議会を傍聴してみよう！

あっ、またお会いしましたね！僕は議会活性化特別委員会、略してギカツと申します。今回のテーマは議会傍聴！ハードルが高いと思っているそのあなた！ぜひ読んでみてくださいね。



Q. どの会を傍聴したらいいの？

初めての方は「一般質問」の傍聴がおすすめ！議員の質問が聞けたり、市の課題を知ることができますよ。直近の議会予定は本紙12ページをご覧ください。

Q. 予約はどうする？何人でもOK？

予約は不要ですが席数には限りがあります。当日はお早めの手続きがおすすめです。定員や注意事項など詳しくは右上のQRコードをチェック！

あわら市HP



次の議会は6月です！まだ傍聴したことが無い方はぜひ、気軽にお越しください。

ご質問やご相談は議会事務局へどうぞ



GOAL

議会活性化特別委員会

ぜひ皆様のご意見をお聞かせください！



紙面への感想やギカツへのご質問・ご依頼も募集中！

右のQRコードを読み込んで「ご意見投稿フォーム」へアクセス！
ギカツへのご意見や紙面へのご感想を常時募集しています。お気軽にどうぞ



ギカツ

議会活性化特別委員会

ギカツとはあわら市議会活性化特別委員会のこと。その名のとおり議会の活性化が目的で、そのための調査や研究を行う組織。現在7人の議員が所属しています。